



「志五中だより」

夢に向かって全力を尽くし、社会に貢献しようとする
自立した人に成長することを願い、次のような生徒を育成する。

- ・自ら考え創造し すすんで挑戦する人
- ・思いやりの心を持ち 社会に貢献できる人
- ・豊かな情操と体力を育み 心身ともに健康な人

《響き合う学びのエリア》

令和8年度 第5号

令和8年8月25日発行
板橋区立志村第五中学校
校長 溝口 千里

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果

4月に9年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、本校の国語・数学・英語及び生徒質問紙の結果がまとまりました。今回は、その結果の概要と、今後の本校の取り組みについてご報告いたします。

1 都・全国を上回る確かな学力

各教科の平均正答率は、すべての教科で全国平均を上回り、東京都の平均と同等、もしくはそれを上回る良好な結果となりました。

数学は、平均正答率が 66%（都平均 62%）と非常に高い結果でした。質問紙でも「数学の勉強が好き」と答える生徒が多く、授業の中で「どのように考えたか説明する活動」が定着していることが、高い論理的思考力につながっています。



国語・英語（3技能）では、国語は平均 68%（都 68%）、英語は IRT スコア（※）532（都 530）と、ともに都平均並みであり、日々の学習を通じて基礎的な学力がしっかりと身に付いていることが確認できました。

平均正答数（率）	国 語	数 学
志 村 五 中	10.2/15 (68%)	10.5/16 (66%)
東京都（公立）	10.1/15 (68%)	9.9/16 (62%)
全 国（公立）	9.6/15 (63.9%)	9.1/16 (57.0%)

英 語	平均 正答数	聞くこと	読むこと ・書くこと	平均 IRT スコア
志村五中	4.2/7	1.3/2	2.9/5	532
東京都（公立）	4.3/7	1.3/2	2.9/5	530
全国（公立）	3.7/7	1.2/2	2.5/5	499

（※IRT スコアは、問題の難易度に左右されない学力の指標であり、「基礎的なミスがあり平均正答数はわずかに低かったが、都の平均的な生徒が落としてしまうような難しい問題にしっかり正解できた」ということになります。）

2 本校の「強み」

生徒質問紙の肯定的な回答から、本校の生徒たちの素晴らしい姿がデータとして浮き彫りになりました。

◎安心できる居場所で、他者と協働する力

「学校に行くのが楽しい」「友達関係に満足している」という生徒が都平均より多く、学校が安心できる居場所になっています。「学級では人と違う意見を言っても否定されない」という温かい雰囲気があるため、「友達の考えを大切に、協力して課題解決に取り組む」姿勢へとつながっています。

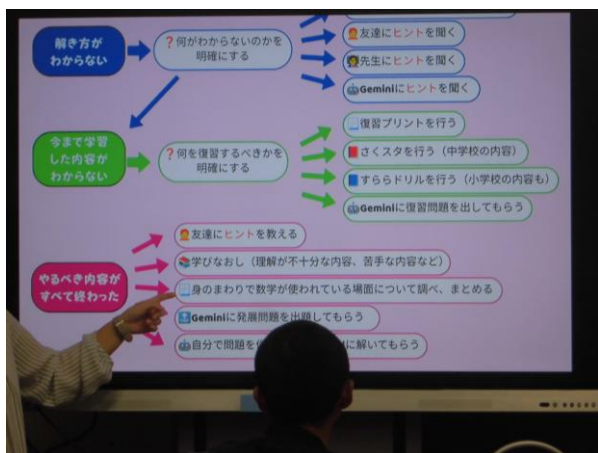
◎自ら考え、ICT を活用する主体性

「課題解決に向けて自分から取り組む」「自分に合った学び方を工夫する」といった主体性が育っています。また、授業での PC・タブレットの活用が進んでおり、「文章やプレゼン資料を作成できる」と自信をもつ生徒が多く、情報を集めて発表する探究的な学習が根付いています。



◎対話を通して深く学ぶ姿勢

英語では、生徒同士で問答をしたり、自分の考えを英語で書いたりする活動が成果を上げています。「英語が好き・得意」と感じ、キ



ーボードを使った英語入力スキルにも自信をもっています。

3 課題と今後の取り組み

数多くの成果が見られた一方で、本校が今後さらに力を入れて取り組むべき課題も見えてきました。結果を真摯に受け止め、以下の点について教育活動の改善を図ってまいります。

①全体及び国語に関して

肯定的な回答において、「強く当てはまる」と自信をもつ生徒が多い反面、「どちらかといえば」と答える中間層の生徒が少ない傾向が見られました。また、国語の学力は都平均並みであるにもかかわらず、「国語が好き・得意」と感じている生徒が都平均より少ないことがわかりました。

【今後の取り組み】

つまずきを感じている生徒を手厚く支援する「個別最適な学び」を推進します。また、国語科をはじめ、学ぶことの楽しさや達成感をすべての生徒が味わえるような授業づくりに努めます。

②キャリア教育及び数学に関して

「将来の夢や目標を持っている」生徒が都平均より低い結果となりました。また、数学の学力は高く「好き」な生徒が多い一方で、「数学が将来社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒が少ない傾向にあります。

【今後の取り組み】

総合的な学習の時間などを活用したキャリア教育をさらに充実させます。また、各教科の授業の中で「今学んでいることが、実社会や将来どのように生きるのか」を実感できるような声掛けや学習活動を取り入れていきます。

③英語(3技能)に関して

「学校の授業以外で日常的に英語を使う機会」や、「授業でキーボードを使って英語を書く活動」の頻度について、都平均を下回りました。

【今後の取り組み】

すでに高い基礎スキル(英語で書く力、入力する力)をもっていますので、授業内でのICTを活用したアウトプット活動をさらに増やすとともに、授業外でも英語に触れる機会を啓発していきます。

おすびに

今回の調査を通して、生徒たちの温かい人間関係や高い学力という「確かな成長」とともに、私たちが学校として次に向かうべき目標が明確になりました。

本校では、強みをさらに伸ばしつつ、見えてきた課題に対して教職員一丸となって改善に取り組み、一人ひとりの生徒がより輝ける学校づくりを進めてまいります。今後とも、ご家庭や地域の皆様の変わらぬお力添えをお願い申し上げます。



以下は、本校の結果が都平均より肯定的回答が5ポイント以上高かった設問です。

- (9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- (11) 人が困っているときは、進んで助けていますか
- (20) あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
- (22) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- (33) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- (34) 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- (36-1) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか
- (36-4) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか
- (40) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- (41) 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- (42) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
- (43) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
- (47) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- (48) 総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか
- (49) あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- (50) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
- (57) 1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、あなたの学習のうまくできないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか
- (61) 数学の勉強は好きですか
- (66) 1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか
- (69) 英語の勉強は得意ですか
- (70) 英語の勉強は好きですか
- (71) 英語の授業の内容はよく分かりますか
- (74) キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができますか
- (79) 1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか

以下は、肯定的回答が都平均より5ポイント以上低かった設問です。

- (10) 将来の夢や目標を持っていますか
- (52) 国語の勉強は得意ですか
- (53) 国語の勉強は好きですか
- (63) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (75) これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す。英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）
- (80) 1、2年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか

志村第五中学校はユネスコスクール加盟をめざします

板橋区では、これまで「絵本のまち板橋」を掲げ、芸術文化の振興や国際交流を積み重ねてきた実績を足掛かりに、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟をめざしています。本校でも今年度、「ユネスコスクール」への加盟をめざし、準備を進めています。

★ユネスコスクールとは？

ユネスコスクールは、持続可能な社会の担い手を育てる教育（ESD）を推進する学校の国際的なネットワークです。

新しい行事を増やすことが目的ではありません。これまで志村五中が積み重ねてきた教育活動を、世界共通の視点から見つめ直し、さらに充実させていく取組です。本校が大切にしている「Respect Others（他者への敬意）」や、防災を軸とした地域との協働、ボランティア活動などは、ESD の考え方と深く結び付いています。

生徒一人ひとりが「自分たちの学びは、未来や社会につながっている」と実感できる学校づくりを進めていきたいと考えています。

★3つの柱で推進します

1. 防災 × 地域協働 ⚠

小学校での行事の手伝いや地域の防災訓練への参加、各種地域ボランティアなど、地域とともに学ぶ活動を通して、持続可能な地域づくりについて考える力を育てます。

2. 「Respect Others」の実践 ❤

いじめ撲滅週間や道徳の授業、「ほっとルーム」の取組などを通して、互いを尊重し、多様性を認め合う心を育て、平和や人権について主体的に考える生徒を育成します。今年度は、新たに地域にある日本語学校を8年生の職場体験先に加え、他文化への理解を深める取組も進めます。

3. Chromebook を活用した探究的な学び 📖

総合的な学習の時間などで、自ら課題を見付け、調べ、考え、発信する力を育てるとともに、将来的には国内外の学校との交流にもつなげていきたいと考えています。

今年度は、加盟に向けた準備の一年となります。これまでの教育活動を整理・発信しながら、本校の特色ある取組をユネスコスクールの理念と結び付け、申請を進めてまいります。これからも地域・保護者の皆様とともに、生徒が未来の社会を担う力を育む学校づくりを進めてまいります。引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。

【ユネスコスクールについて詳しく知りたい方はこちら】 [ユネスコスクール公式ウェブサイト](https://www.unesco.org/education/unesco-schools/)

【生徒の活躍の様子は学校ホームページ
(学校日記) をご覧ください】

<https://www.ita.ed.jp/1320134/weblog>

※右の二次元コードをスマートフォンで読み取るか、デジタルデータ上では左のURLをクリックしていただくと、学校ホームページをご覧いただけます。

